

『あいさつ坂』を降ると、

正門の向こうは“生活道路”

朝早くから交通量は増加中。



登
校
指
導

令和元年度下関市立長府中学校



朝の立哨

令和元年
10月10日

於

中学校近郊
通学路

あの日、
僕たちは、
なぜ安全に登校できたのか
を、知らない。

下関市立 長府中学校 校区

時間の重みを醸し出す街“長府”

その空間に、
一歩踏み出すと・・・・・・
悠久とは異なる
加速する世界。



集結する草。



一見すると普通の光景。



小学生が通学できる
安心の世界。



ふと気づくと辺りは車両。
絶え間なく通過していく様子に、
しばし**圧倒**される私。



高校生も通過中。



チャレンジャーな自転車。



長府中教員による
ジェットストリーム・アタック！



ふと看板が私の足を止める。
細やかな気配りに感心。

2



小学生も、
高校生も、
町の人も、
素晴らしい挨拶。



よどみなく車両が登場。



それよりも遙かに優れたPCを搭載



している現代の車両。
アポロは、電卓よりも緩い制御系で
月まで到達していました。

私たちは何処へ向かうのでしょうか。



すれ違う車両。
立ち止まる
私たち。
交わす挨拶。
生まれる笑顔。

『そうか！』

『一人一人の気配りで、
このタイトロープの安全は、

一步一步。確実に、
現実になっているのだ』

了

長府中の "怪傑ズバット"



"アケーの木"



そう思う私でした。

